



# 優秀賞 (居室部門)

タイトル

紋屋町のいえ

タイプ

賃貸一戸建

講評

町屋リフォームを上手に現代風かつコンパクトに仕上げた好例。築130年の長屋を、床や壁、襖などの素材や使用する家具まで含めて、京都らしさを十分に残しながら再生している。コストも抑えられていて、参考に出来る点が多い。

リフォーム前後の写真



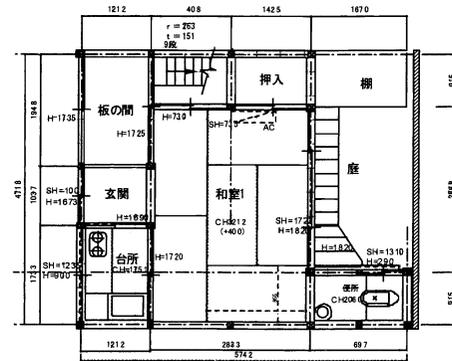
### リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

- ・ものづくりの町、京都西陣紋屋町という恵まれた環境の中、京都デザイン・京都ブランドの伝統美を探求し、新しいものを生み出すケーススタディとして、又、京都の品格を世に広める発信基地として「紋屋町のいえ」を改装。
- ・荒廃した築130年の長屋の改装であり、改修においては、油圧ダンパーによるジャッキアップを施し、水平補正を実施。本来の伝統美を取り戻し、新しいライフスタイルを提案する体験空間としての機能も共存するよう設計を行う。
- ・床材にはカリンの無垢パーケットフロアを使用し、壁はすざ入りじゅらくと本漆喰塗とした。又、襖には「京唐紙（影日向枝桜）」を用い、整備された坪庭との調和を図る。
- ・家具にはカリモク60をセレクトし、京間の6帖という広さでありながら、小さなながらも狭くはない、広がりある空間を実現。
- ・「縁側の向こうにある京都の暮らしの美を体験できる、懐かしき、良き時代を感じさせる上品な空間に仕上がりました。とても満足しています。」(施主の言葉)

### 特に配慮した住宅性能：

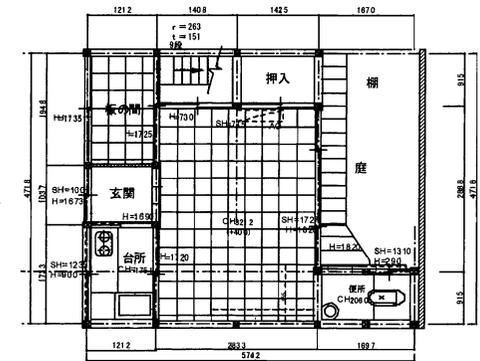
| データ    |   | 構造/築後年数 |             | 在来木造   |  | 130年 |  |
|--------|---|---------|-------------|--------|--|------|--|
| 所在地    | 京都府京都市  | 構造/築後年数 | 在来木造        | 130年   |  |      |  |
| 該当工事面積 | 19.68 m <sup>2</sup> /総工事床面積 19.68 m <sup>2</sup> | 該当部分工事費 | 105 万円/総工事費 | 135 万円 |  |      |  |
| 居住者構成  | 15歳以上65歳未満： 1 人/65歳以上： 人/15歳未満： 人/ベッド：            |         |             |        |  |      |  |
| 設計者    | (株)ローバー都市建築事務所                                    | 担当者     | 野村 正樹       |        |  |      |  |
| 施工者    | (株)山中工務店  | 担当者     | 山中 弘泰       |        |  |      |  |

### リフォーム前



S=1/70

### リフォーム後



S=1/70